

**6月9日(土) 南魚沼市交流大使の委嘱を行いました**

八海山おおくらの森ブナ林ステージで、第15回ブナ林コンサートが開催されました。平成16年から毎年出演しているフルート奏者の吉原りえさんを、南魚沼市のさまざまな魅力を伝え、観光客を含む交流人口の拡大を目的とした交流大使に委嘱しました。

吉原さんは「とても責任のある役職をいただきありがとうございます。これからも南魚沼市のさまざまな魅力を伝え、みなさんのお役に立てるようがんばっていききたいと思います」とあいさつをしました。



**6月8日(金) ちよま 芋麻畑の焼畑とネット張りを行いました**

栃窪にある芋麻畑で焼畑とネット張りが行われ、越後上布技術保存協会の指導のもと栃窪小学校の児童8人が作業を手伝いました。

この畑は、越後上布技術保存協会が越後上布の原料となる芋麻のことを知るために試験的に栽培しています。

児童は、大きなカヤの束を運んだり、カヤが全て燃えたあとは水をまいて火を完全に消し、そこへ肥料をまき、風よけのネットを張ったりと、積極的に参加し、一生懸命作業していました。



**5月31日(木) 大巻小学校の学校田で田植えが行われました**

大巻小学校の学校田で田植えが行われ、大巻小学校の全校児童、五日町小学校の5年生13人、国際大学の学生7人のほか、保護者やボランティアが参加しました。児童は、育てた苗を丁寧に手植えました。顔やお尻を泥だらけにしなが、一生懸命に苗を植えていました。

大巻小学校と五日町小学校は、平成31年4月から両校を統合したおおまき小学校となります。同じ学び舎で過ごすことになる両校の児童は、お互いに協力して田植えを行っていました。



**第30回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章を受章 田村 良一さん〔早川〕**

田村さんは、昭和47年4月に魚沼消防事務組合に消防士として採用され、昭和52年に起きた上越新幹線建設工事中の湯沢トンネル火災では、犠牲者を出すことなく救助活動を成功させました。平成23年4月から南魚沼市消防本部次長として、災害発生時には現地に赴き、災害の陣頭指揮を執り危険な現場での救助活動などにも尽力されました。

田村さんは、「みなさんのおかげです。この受章は、先輩や同僚から支えてもらったおかげだと思います」と、語りました。



**高齢者叙勲 瑞宝双光章を受章 種村 茂春さん〔上原〕 元六日町収入役**

種村さんは、昭和28年4月に城内村役場に事務雇として採用され、昭和59年3月までの間、城内村や六日町職員として行政事務に従事し、昭和59年4月から平成4年3月までの2期8年にわたり、六日町収入役として町政運営の安定化に尽力されました。

種村さんは、「この受章は、みなさんの支援と家族の協力により健康に過ごせたおかげです。感謝しています」と、語りました。

※高齢者叙勲は、国家や公共のために功労があった88歳になられた人に授与されるものです

